

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

## 分科会

### ■ 7月分科会

7月2日(木)午後6:30より、高津市民館第1会議室にて、会員8名、学生3名の参加を得て開催した。

一般財団法人機械振興協会技術研究所 光学博士 五嶋裕之氏を招き、「人に寄り添うロボット技術～機械と人の付き合い方～」をテーマに講演は進められた。

人と機械の共存を目指す知能・サービス・自律型移動・防災等、様々な角度から人を助け、人に寄り添うロボット研究が説明された。

子供の頃に夢見たアニメや特撮世界から最新技術のロボットまで、歴史を振り返りながら述べられ、近未来のロボットが直面するだろう問題を学ぶ機会となった。

その後、場所を移して懇親会を行い、軍需向けロボット等について大いに盛り上がり、散会となった。



### ■ 9月分科会

9月2日(水)午後6:30より、ミュウザ川崎シンフォニーホール研修室1にて、会員20名、学生3名の参加を得て開催した。

防衛省防衛政策局 次長 鈴木敦夫氏を招き、「沖縄の米軍基地の現状」をテーマに講演は進められた。

沖縄米軍基地の現状や自衛隊との関係等が説明された。

幅広い知識を得ることができ、10月定例会(沖縄県視察)に向けて、とてもためになる好機であった。

その後、場所を移して懇親会を行い、活発な意見交換がされ、盛会裏のうちに終了した。



## 9月定例会

9月10日(木)午後6時より、川崎商工会議所会議室5にて、会員13名、オブザーバー2名、見学者1名、学生7名の参加を得て開催した。

獨協大学経済学部経済学科 准教授 徳永潤二氏を招き、「アベノミクスは日本経済を復活させるのか」をテーマに講演は進められた。

アメリカ経済の実態、世界金融危機から5年後、日本経済への示唆等が説明された。



各種データや具体例をとおして、日本経済・企業を総合的に分析する内容であった。

その後、会議室6にて懇親会を行い、終始和やかな雰囲気で見学を深めた。



加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191